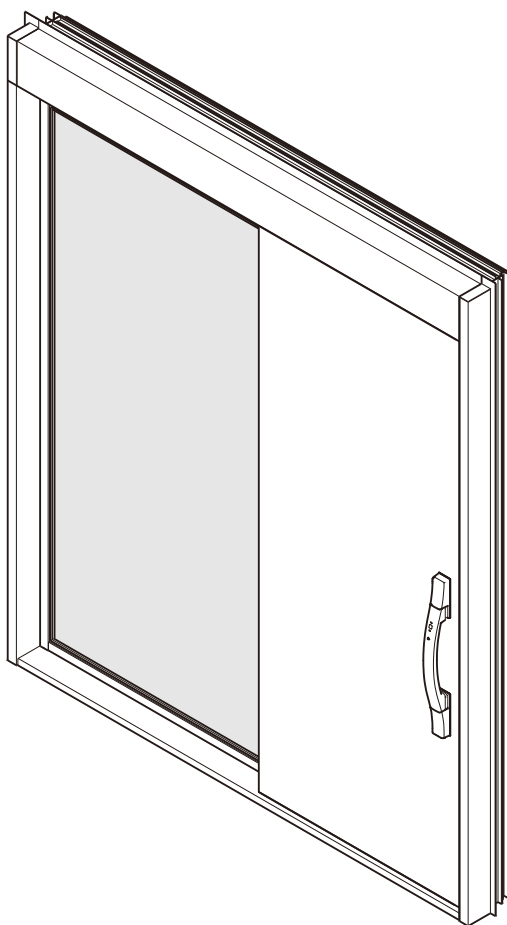


リニアスライドシステム

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2~4
■ 安全にお使いいただくために	5
■ ご使用にあたって	6・7
1. 電源スイッチの入れ方	6
2. 電源スイッチの切り方	7
3. 開閉時間・速度の調整方法	7
■ リニアスライドを使用する	8・9
1. 引戸を自動で開閉する「アシスト機能」について	8
2. 引戸を開いたままにする「開放保持機能」について	8
3. 電気錠の操作と連動して引戸を自動で開閉させる「連動開閉機能」について (システムキー・タッチ/ノータッチ切替えキーの場合のみ)	9
4. 手動で引戸を開閉したい場合	9
■ センサーのはたらき	10
■ 点検とお手入れについて	11・12
■ こまったときには	12・13
■ 仕様	13
■ アフターメンテナンスについて	14
■ 商品保証について	15

重要なお知らせ



ご使用前に

安全のために、必ずお守りください。

「リニアスライドシステム」のご使用およびお手入れは、この取扱い説明書にそって行ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用および誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社・エース産業株式会社およびその販売会社に責任はないものいたします。



- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「リニアスライドシステム」のご使用およびお手入れの際は、取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「リニアスライドシステム」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

この「取扱い説明書」では、危険度（または事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

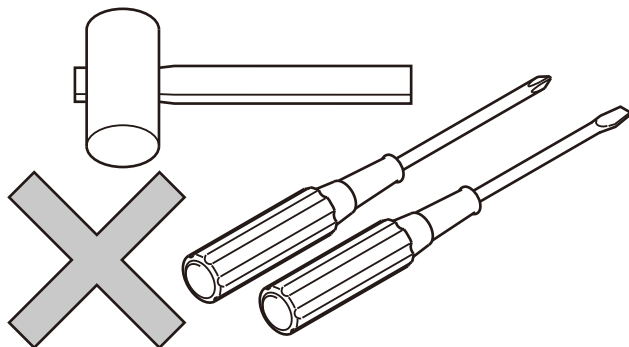
警告用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障等につながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

警告

- カバーの取外し・改造・分解はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。

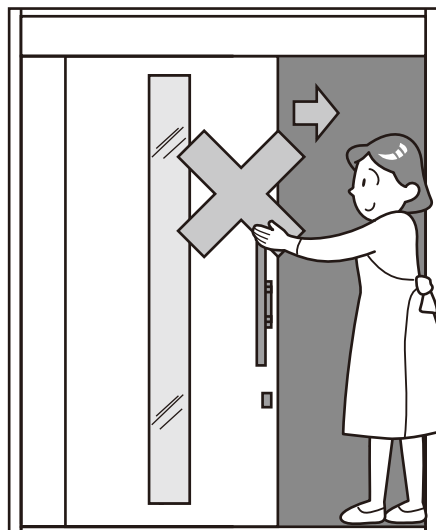


- コントローラおよびレール内部をぬれた雑巾や洗剤で拭いたり、オイルスプレーなどを吹きかけたりしないでください。感電・火災・故障の原因となります。電子部品・樹脂部品の劣化にもつながります。



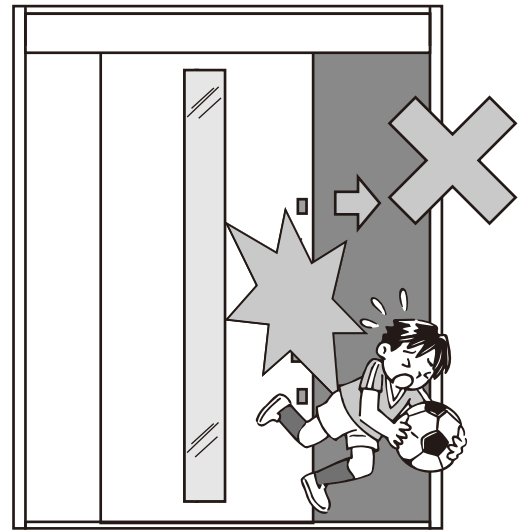
注意

- 必ず下記の注意事項をお守りください。守らない場合は開閉する引戸に衝突したり、はさまれたりしてケガをするおそれがあります。
 - ・開閉の際には、周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
 - ・引戸付近に立ち止まらないでください。 ・開閉位置に顔や手足を出さないでください。

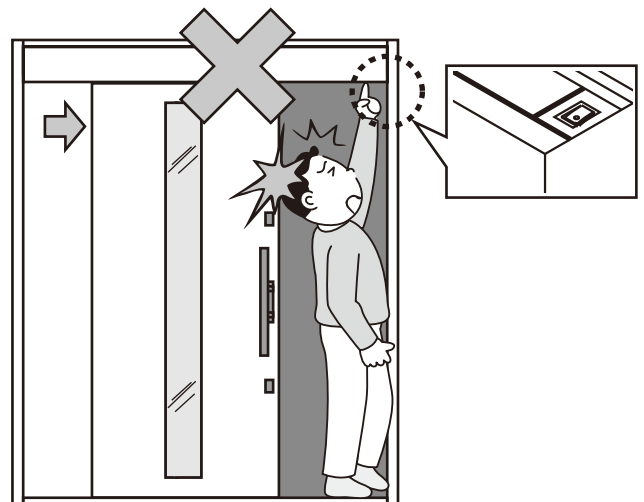
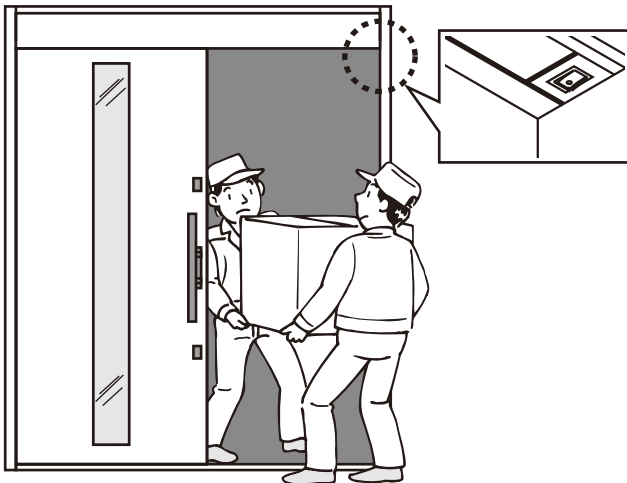


⚠ 注意

- ・ 閉まりかけている引戸に駆け込まないでください。
- ・ 引戸付近で子供を遊ばせないでください。



- ・ 大きな荷物などを運ぶとき、または建付け調整や掃除をするときなど、長時間引戸を開け放す際は電源スイッチを切ってください。
- ・ 引戸の開閉中にリニアユニットの電源スイッチを切らないでください。



- ・ 来訪者の方に引戸が自動で開くことを伝えてから開閉操作を行ってください。
- ・ 引戸が開いた状態で停電から復帰した場合は、自動で閉まってくるのではさまれないように注意してください。

特に注意していただきたいこと

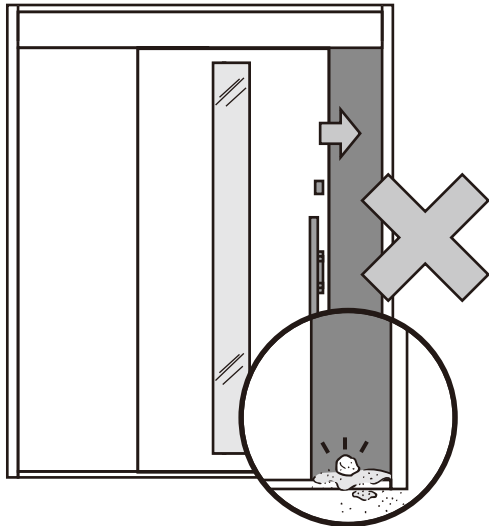
※安全のため、必ずお守りください。

お願い

●下記のお願事項をお守りください。守らない場合は誤作動や故障の原因となります。

・下枠内は常に清掃し、ゴミや小石などがいないようにしてください。

・センサーなどの電気機器類および上枠部分（リニア機器）は、水洗いしないでください。



- ・開閉位置にもものを置かないでください。
- ・センサーなどの電気機器類は、たたいたり、落したりしないでください。
- ・引戸に強い衝撃を加えたり、早く開け閉めしないでください。

■システムキー・タッチ / ノータッチ切替えキーの場合

- 引戸が閉まっている際は、施錠してください。
引戸を閉めていても解錠のままだと引戸が固定されないため、勝手に開いてしまうおそれがあります。



- 季節や立地条件により、下記のような条件下ではリニアスライドシステムが正常に作動できない場合があります。そのような場合は手動で操作してください。(→P.9)
 - ・作動温度範囲（ -10°C ～ 40°C ）外の場合。
 - ・台風などの強風の場合。
 - ・直射日光が当たるなどで引戸の表面温度が上昇し、熱そりが発生した場合。
- 心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、念のため医療機器メーカー様にご相談ください。
- 油などによるひどい汚れは、プラスチック用クリーナー・中性洗剤などで拭いてください。(シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。)
- 外出の際は、施錠されたか確認してからお出かけください。また、手動用のカギも携帯するようにしてください。

安全にお使いいただくために

●本説明書以外の同梱取扱い説明書も合わせてご確認ください。

■安全機能について

本商品の各種安全機能は、はさまれやぶつかりを軽減するものであり、防止するものではありません。
ご使用の際はご注意願います。

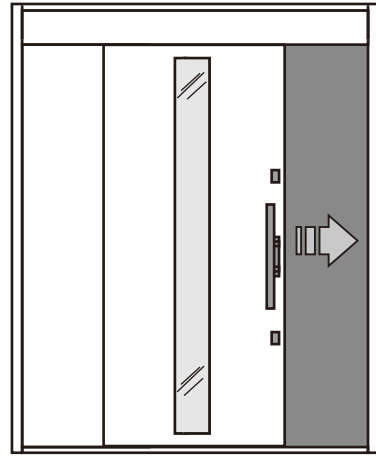
衝突反転機能

●開閉中に引戸にぶつかると、自動で反転します。



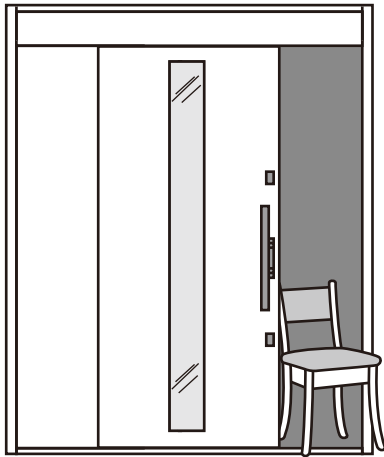
衝突位置記憶機能

●前回、引戸が障害物にぶつかった位置を記憶しています。次の動作時には衝突位置手前で一時停止してから徐行動作します。(一回のみ)



安全開放停止機能

●開閉中に同じ場所で2回引戸にぶつかると、その場で停止します。(セーフティストップ機能)



センサー検知機能

●開閉中にセンサーの検知エリアに入ると、自動で引戸が開きます。(→ P.11)

※閉まっている引戸を自動で開ける機能はありません。

※センサーはあくまで補助的なものです。



エンジン過熱保護機能

●連続で開閉させたりしてモーターの温度が上昇すると、保護が作動し約10秒停止します。その時コントロールBOX部の電源/チェックランプが赤点灯します。温度が下がると自動的に復帰します。

ご使用にあたって

1

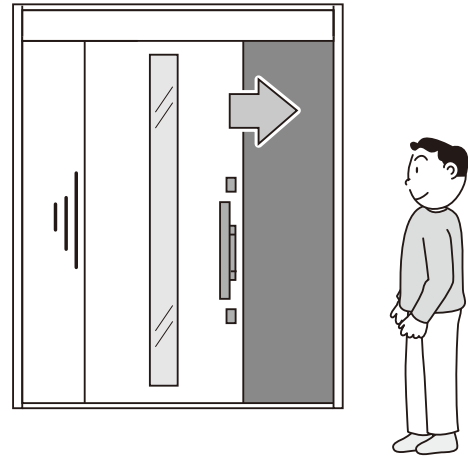
電源スイッチの入れ方

- 電源スイッチを入れる前に引戸の可動範囲に障害物がなく、開閉がスムーズ行えることを確認ください。電源を入れた後は、『自己学習モード』になり、自動的に引戸が閉まってきます。

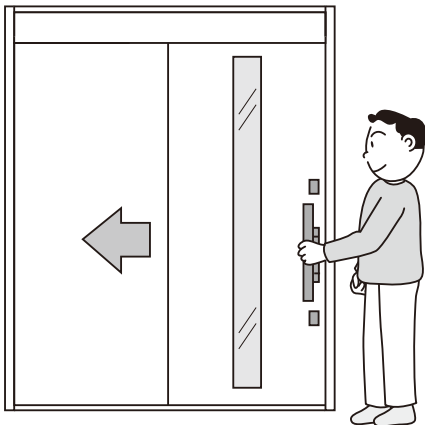
①電源スイッチを入れ、可動範囲並びに検知エリアから離れてください。



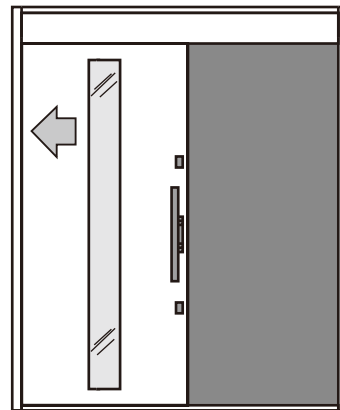
②約 5 秒後に引戸が自動的に閉まってきます。(自己学習モード)



③完全に閉まってから引戸を少し開けてください。(約 1cm 程度) 自動で開きます。



④全開位置まで開きましたら自己学習モードは完了です。



アドバイス

- 自己学習モード中の動いている引戸は、さわらないでください。引戸の開閉動作がぎこちなくなる場合があります。このような状況の時は、一度電源を切り、再度自己学習モードを行ってください。(→ P.6、P.7)
- 停電から復帰した後の 1 回目の動作時も自己学習モードが働きます。



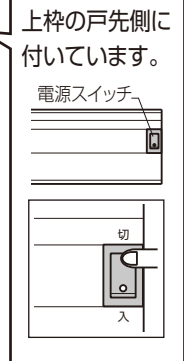
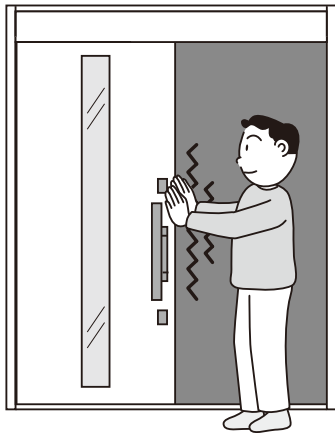
2

電源スイッチの切り方

- 引戸が止まっているときに電源スイッチを切ってください。
引戸が動いているときに電源スイッチを切ると引戸がそのまま惰性で動き、人と衝突してケガをするおそれがあります。
※電源スイッチを切っても電気錠の電源は切れませんのでそのまま使用することができます。

①開放保持機能にて、全開状態にしてください。
(→ P.8)

②電源スイッチを切ります。



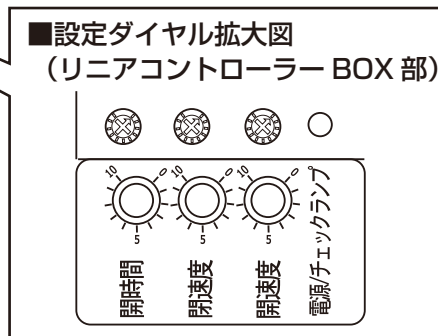
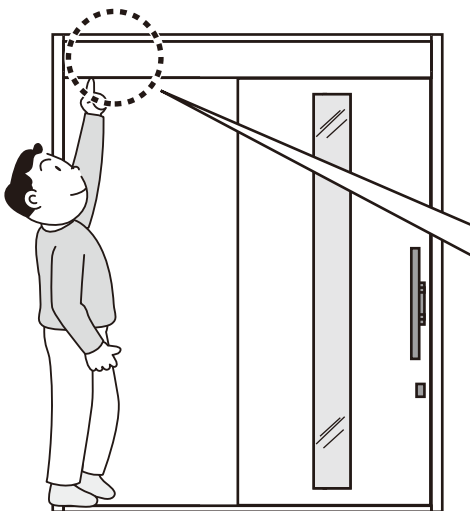
上枠の戸先側に付いています。

3

開閉時間・速度の調整方法

- 設定ダイヤルを変えることで、開閉時間などを変更することができます。
精密ドライバーでダイヤルを回し、矢印を0～10の位置に合わせてください。

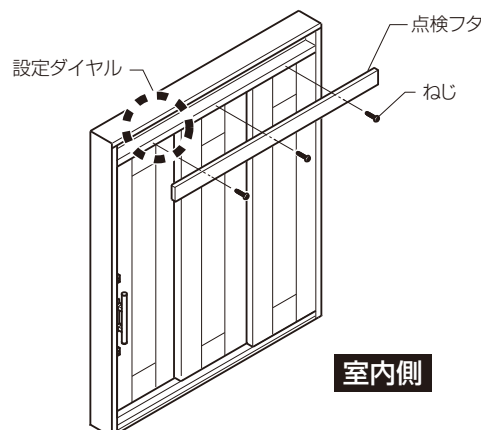
ダイヤル	設定内容	0～10
開時間	引戸が開ききってから閉まり始めるまでの時間	0～9秒※
閉速度	引戸が閉じる速度	0.2m/秒～0.5m/秒
開速度	引戸が開く速度	0.2m/秒～0.5m/秒



※開時間ダイヤルを10に設定すると、全開状態で開いたまま閉まってこないようになります。閉める場合には、障子を閉め方向に約1cm動かしてください。

■袖付2枚引仕様の場合 (2枚の障子が連動して動く商品)

- 設定ダイヤルは、室内側上枠の点検フタの内側にあります。不明点がある場合はP.1に記載されている連絡先もしくはご購入の販売店にご連絡ください。



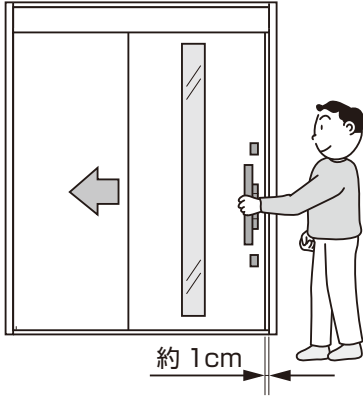
リニアスライドを使用する

1

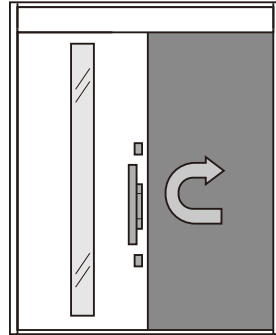
引戸を自動で開閉する「アシスト機能」について

- 解錠状態で、引戸を約1cm開けるとアシスト機能が働き、自動で引戸が開閉します。

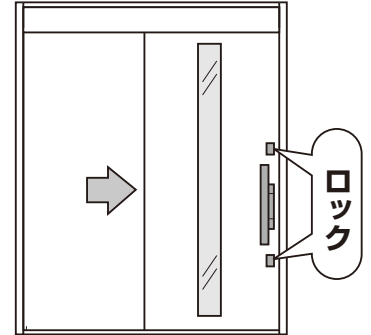
①引戸を開ける。
(解錠状態)



②引戸が自動で全開まで開き、
反転して自動で閉まります。



③引戸が完全に閉まりましたら
施錠してください。



2

引戸を開いたままにする「開放保持機能」について

- 全開位置まで開いた引戸を「開時間設定」+ 3秒以上、手などで押さえ続けると開放保持機能が働きます。
また、自動で開く速度よりも早く、引戸を全開位置まで開けた場合も開放機能が働きます。

①「開時間設定」+ 3秒間
押さえ続けます。



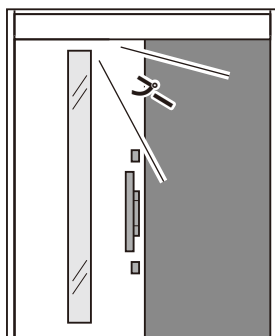
もしくは

引戸を素早く全開まで
開けます。

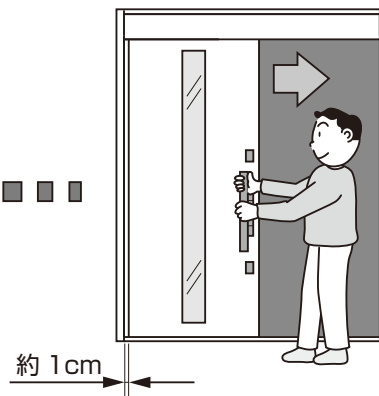


※ 2枚の障子が連動して動く、袖付2枚引仕様は、「開時間設定」+ 3秒以上引戸を押さえた場合のみ開放保持機能が働きます。

②「ブー」と鳴り、開放機能が働きます。



③解除する場合は、引戸を閉め方向に
少し(約1cm)動かすと自動で閉まりだし、解除されます。



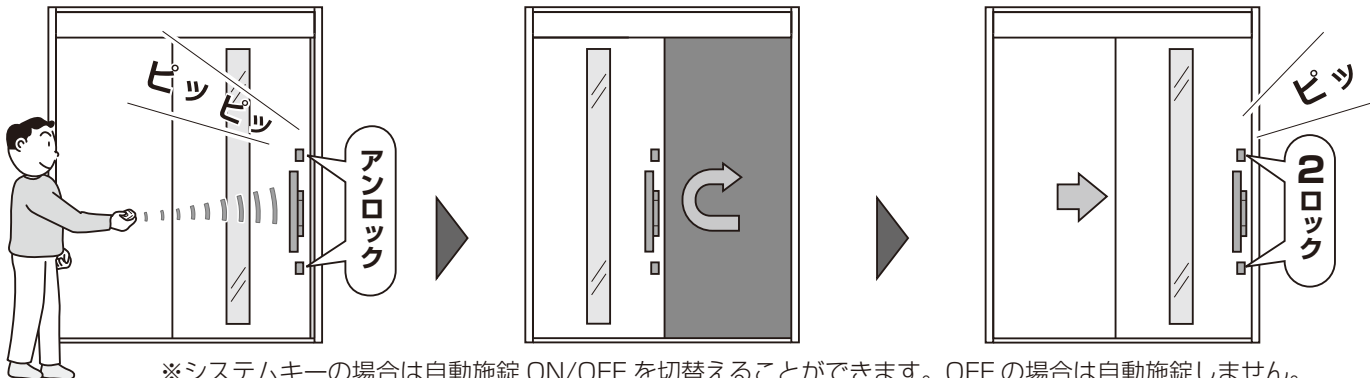
3 電気錠の操作と連動して引戸を自動で開閉させる「連動開閉機能」について (システムキー・タッチ/ノータッチ切替えキーの場合のみ)

●電気錠の操作でカギを解錠すると引戸が連動して全開まで開き、自動的に閉まります。閉まった後はカギも自動施錠※されます。

①電気錠の操作で解錠します。

②引戸が自動で全開まで開き、反転して自動で閉まります。

③引戸が閉まると自動施錠※します。



※システムキーの場合は自動施錠 ON/OFF を切替えることができます。OFF の場合は自動施錠しません。

■手で解錠した場合

手で解錠すると自動施錠しません。荷物を運ぶときなど、自動施錠させたくない場合は、手で解錠してください。この際は以下の内容にご注意ください。



・引戸は連動して開きません。「アシスト機能」にて開閉してください。



・引戸が閉まっている間に施錠してください。



■解錠したままだと

引戸を閉めていても自動施錠されないため、勝手に開いてしまうおそれがあります。



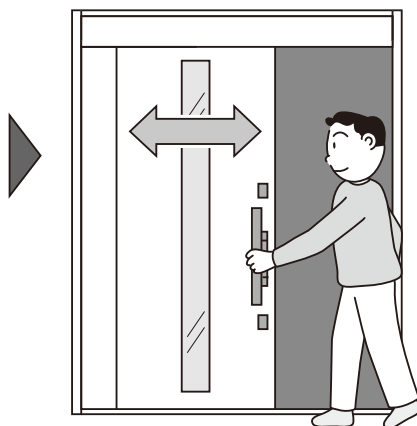
4 手で引戸を開閉したい場合

●リニアスライドの電源を切ると手で引戸を開閉することができます。(停電時も同様です)

掃除をするときなど、自動での開閉をさせたくない場合はリニアスライドの電源を切って手動でご使用ください。

①電源スイッチを切ります。

②手動で開閉できるようになります。



※「1.電源スイッチの入れ方」「2.電源スイッチの切り方」の項目をご確認ください。(→P.6・7)

※リニアスライドに搭載された磁石の力により、引戸の上部が引っかかりやすくなる傾向がありますので開閉の際はご注意ください。

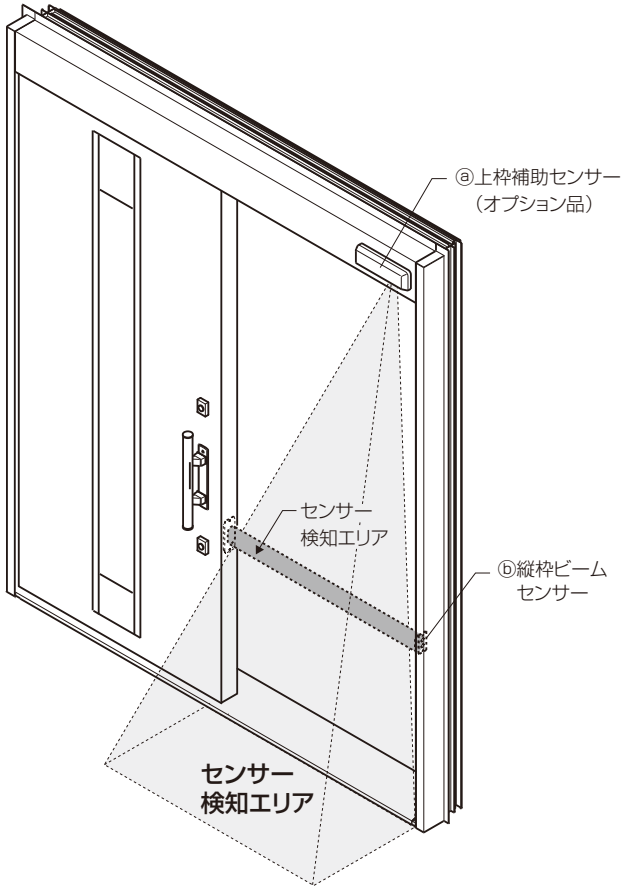
■システムキー・タッチ/ノータッチ切替えキーの場合

※閉めこみながら施錠してください。部品の反発力や風などにより引戸が開いてしまうおそれがあります。

センサーのはたらき

センサーは、検知エリア内に人が入ったことを感知して開閉中の引戸を開く方向に動かし、はさまれやぶつかりを軽減する補助機能です。

センサー検知エリアのイメージ図

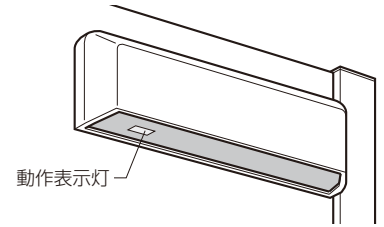


各センサーについて

③上枠補助センサー (オプション品)

検知エリア内の人、物の動きを感知します。

詳しくは上枠補助センサーに同梱の取扱い説明書をご確認ください。



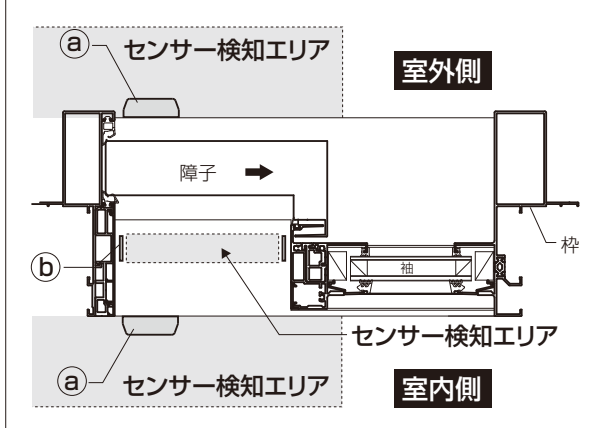
■動作表示灯の意味

人の状態				
表示内容	電源OFF	検知エリアから離れている	検知エリアの中にある	「引戸に近い」
動作表示灯	消灯	緑色	橙色	赤色

※検知エリア内で一定時間静止しているとセンサーが静止物と判断し、感知なくなります。

※上枠補助センサーはオプション品になりますが引戸の品種によっては付けられない場合もあります。

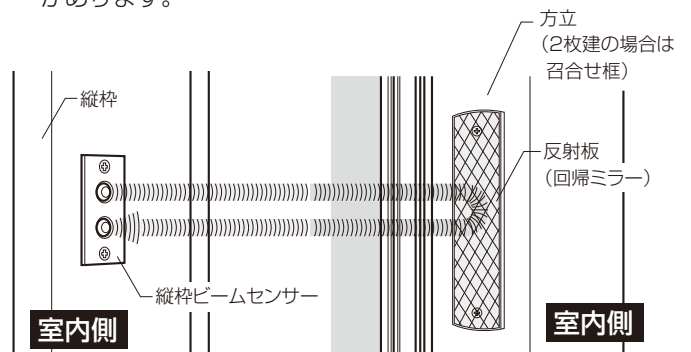
■平面図



⑤縦枠ビームセンサー

赤外線のリームがさえぎられると人が検知エリアにいることを検知します。

※服の布地など赤外線を通す物や、ラメ入りのバッグなど光を反射する物でリームをさえぎると、検知しない場合があります。



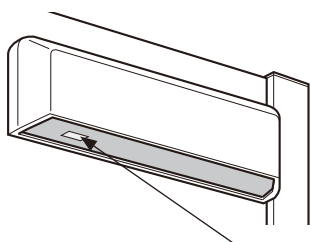
点検とお手入れについて

「リニアスライドシステム」を安心してご使用いただくために、下記の定期点検を行ってください。点検を行って作動不良や異常がありましたら、P.1 の連絡先までご連絡ください。

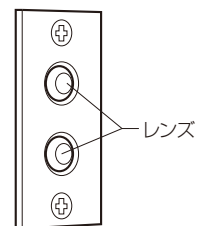
■センサーの点検 『点検頻度：1回 / 月程度』

●引戸が閉まる際に、センサーが検知すると引戸が開くかセンサーの表示と合わせて確認します。

① 上枠補助センサー (オプション品) の確認



② 縦枠ビームセンサー の確認



① 上枠補助センサーの電源が入っていることを検知エリアの外から確認します。		緑色
② 検知エリア内に入って表示灯が切替わることを確認します。		橙色
③ 引戸を解錠し、引戸を開けます。		赤色
④ 自動で引戸が開きますので検知エリアの外にでます。		緑色
⑤ 引戸が閉まりだしたら、再度検知エリアの中に入り、扉が反転し開くことを確認します。		橙色

① 室内側から縦枠センサーのレンズ部を手でおおいます。	
※ 上枠補助センサーが室内側に付いている場合は、光を遮る物をテープなどでレンズの前に張付けます。	
② 引戸が閉まって来ないことを確認します。	

■商品のお手入れ 『頻度：都度』

●商品はアルミニウムのほか鋼板、樹脂などによって構成されています。いつまでも美しく商品をお使いいただくために、また表面についたゴミ・ホコリは腐食や作動不良の原因になりますので、それぞれの性質に応じた方法で定期的なお手入れが必要です。

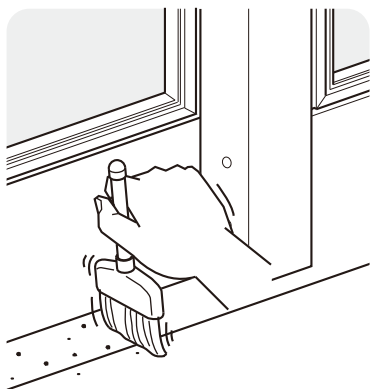
お願い

- 掃除の際は必ずリニアユニットの電源スイッチを切ってください。
- お手入れには乾いた柔らかい布を使用し、軽く拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、よくしぼってから拭いてください。
- シンナー・ベンジンなどの薬品は使用しないでください。機器の表面を傷めたり変色の原因となります。
- 電気錠機器・センサー・点検フタ内のリニアユニットには、直接水をかけないでください。故障の原因となります。



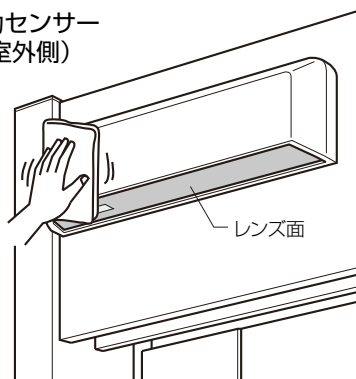
点検とお手入れについて

- 下枠内のゴミ・ホコリ・小石などを取除いてください。誤作動や故障の原因となります。



- センサーは定期的に清掃してください。検知面（レンズ面や反射板）が汚れていると誤作動の原因となります。

- 上枠補助センサー（室内・室外側）



- 縦枠ビームセンサー



こまったときには

電動での開閉操作・施錠操作が正常に作動しなくなった時は、次の内容をご確認ください。それでも正常に作動しない場合は、P.1に記載されている連絡先、もしくはご購入の販売店にご連絡ください。

現象	ここを確認ください	対処のしかた	ページ
引戸が自動で開かない。	停電中やブレーカーが落ちていませんか。	停電中やブレーカーが落ちていると引戸は自動では開閉しません。停電が終わるまで引戸を閉めてお待ちください。引戸が開いていると停電復帰後、自動的に閉まってきます。停電中も引戸を使用したい場合は、電源スイッチを切ってください。	P.6・7
(電気錠は使える)	電源スイッチが切れていませんか。	リニアスライドの電源スイッチを入れてください。電気錠とリニアスライドの電源は別になります。	P.6
引戸が閉まらない。開いたままになる、途中で反転する。	上枠補助センサーの検知エリアに動くものがありますか。	上枠補助センサーは物であっても動くものに反応します。上枠補助センサーの検知エリア調整などを行い、検知エリア内に動くものがないようにしてください。調整方法は上枠補助センサー同梱の取扱い説明をご確認ください。	P.10
	縦枠ビームセンサーの検知面が汚れていませんか。	センサーの検知面の汚れを取除いてください。	P.11・12
	開時間設定ダイヤルを10にしましたか。	開時間設定ダイヤルを10にすると開いたままになります。	P.7

現象	ここを確認ください	対処のしかた	ページ
引戸が閉まらない（開かない）。途中で反転する。	下枠レールの上に障害物がありますか。	障害物を取り除いてください。	—
引戸が途中で止まったままになる。	強風が吹いていませんか。	強風の時など引戸の開閉が重くなると、途中で止まってしまうことがあります。	—
	障害物はありませんか。	障害物を取り除いてください。同じ個所で障害物に当たると、1回目は反転しますが2回目はその場で停止します。	P.5
開閉スピードが遅い。	障害物に当たりませんでしたか。	前回、障害物に当たった個所でスピードを緩めます。	P.5
	電源を入れた、もしくは停電から復帰しませんでしたか。	電源を入れた、もしくは停電から復帰した直後は自己学習モードになるため、ゆっくり閉まります。	P.6
引戸を開けようとするとう重い。	自動で閉まった直後ではないでしょうか。	リニアスライドは自動で閉まった直後もしばらく閉め続けます。少し間をあけてください。	—
検知エリアにいても閉まってくる。	服など体以外の物が縦枠ビームセンサーの検知エリアに入っていないですか。	縦枠ビームセンサーの赤外線ビームは、布地を透過するものや光を反射するものが検知エリアに入っても反応しない場合があります。	P.10
	上枠補助センサーの検知面が汚れていませんか。	センサーの検知面の汚れを取り除いてください。	P.11・12
引戸が勝手に開く。	システムキー・タッチ/ノータッチ切替えキーで手動で解錠しませんでしたか。	手動で解錠した場合は、自動施錠しないため、引戸が固定されず、勝手に開いてしまうおそれがあります。施錠してください。	P.9

仕様

駆動方式	磁石可動型ブラシレスリニアDCモーターによるダイレクト駆動
電 源	AC100V (50/60Hz共用)
消費電力	作動時：0.74Wh/回、待機時2.8W～
使用温度環境	-10～40℃（ただし結露なきこと）
開き速度	20cm/秒～50cm/秒（出荷時は40cm/秒）
閉じ速度	20cm/秒～50cm/秒（出荷時は30cm/秒）
開放時間調整	0秒～9秒（出荷時は2秒）
開閉扉重量	26～60kg
作動電圧範囲	AC90～110V
補助センサー	縦枠ビームセンサー：近赤外線回帰反射方式 上枠補助センサー：近赤外線反射方式

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打切り後10年です。電装系部品については製造打切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。
●LIXIL PARTS SHOP <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号	MAK-13J	事業所コード	ZZB2	2021.07.26発行
------	---------	--------	------	--------------

